

# 学校通信

学校教育目標：「社会人基礎力の育成」

令和2年5月11日 第3号 四万十町立大正中学校



## 各学年道徳授業のようす 回覧

1年生から3年生までの道徳授業の様子を紹介します。

### 1年生「サッカーの漫画を描きたい」

漫画「キャプテン翼」の作者、高橋陽一さんが漫画家を目指した体験談をもとに授業を行いました。高橋さんはそれまで決して順風満帆な漫画家ではなく、たくさんの苦勞をしてきましたが、諦めずに漫画を描くことを続け、キャプテン翼を生み出すに至りました。この話の中で「目標を持つことの大切さ」について学級で考えていました。そして、その目標が向けて行動するとき、挫折しそうなときもあるけれど、そんなとき自分に対してどのような言葉をかけるのかを考えました。

### 2年生「諦めない心」

陸上400mハードル選手の為末大さんのお話で、シドニーオリンピックに出場を果たすものの予選レースで転倒を喫し、悔しい思いを経験しました。その悔しさをバネに努力を続け翌年の世界陸上大会で見事銅メダルを獲得しました。その話を元に「何度も挑戦して失敗してしまったとき、その挑戦を続けますか？」という問いに対して「挑戦し続ける派」「挑戦をやめる派」2つに分かれて、討論を行いました。そして、最後に心が折れそうになったとき「自分の背中を押す言葉」を考えました。

### 3年生「銀メダルから得たもの」

レスリング選手の吉田沙保里さんのお話です。オリンピック4大会連続金メダルをかけて臨んだリオデジャネイロオリンピックの決勝で敗れました。表彰台で涙する吉田選手は記憶に残るところです。しかし、吉田選手は帰国後のインタビューで「今は銀メダルでよかった。～中略～金メダルよりも得られるものが多いからです。」と語っています。クラスでは「金メダルよりも得られるものは何か」について考えた後に、自分自身を振り返り「これから自分自身が立てた目標に向かうとき、くじけそうになったり、挫折しそうになったりした時に自分にかかけたい言葉」を考えました。

#### 2年生：自分の背中を押す言葉

#### 1年生：自分にかかけたい言葉

「自分ならできる」「今やろう」  
「あきらめるな！まだ試合は終わっていない」「落ち着いて行動しろ」  
「失敗しても下を見ないで、前を向いて。必ず明日はくるからまたやり直せばいい」  
「今までにあったつらいことの方がよっぽどつらいから乗り越えられる」  
「目標を達成するためには失敗も必要だからあきらめるな」「これを乗り越えたらきっといいことがあるからまだ頑張っ  
て最後までやりきろう」  
「あきらめたらそこで試合終了」

#### 3年生：自分にかかけたい言葉

- ・もう1回挑戦したらできるかもしれないのどうしてやめるん？
- ・当たって砕けろ ・考えろ ・なんでできんかゆっくりに考えてみて
- ・早く忘れよう ・がんばれ ・いける、いける。忘れて頑張れ ・俺ならできる
- ・いけるっしょ ・勝つまで自分に負けるな ・無理せずがんばれ

2年生 掲載分

※割愛させていただきます。  
(個人名がある為)

3学年「目標」がキーワードですね。1年生では目標の設定の大切さ。2年生では目標に向けてどんな意識で取り組むか。3年生では目標が達成できなかった時の心の持ち方。人生を歩いていくうえで、目標は必要であると思います。勉強や部活動においても目標は必要ですよ。私が思うに、まずは目標の設定が大切だと思います。簡単すぎてもいけないし、と言って難しすぎるのもやる気がわいてきませんよね。努力すれば、実現可能な目標を設定することがコツだと思います。次に目標達成するための日々の取り組みです。毎日あるいは事あるごとに意識しているか。そして、その目標が適切でなければ修正してもかまわないと私は思います。また、目標は目的に向けていくつもの段階に分けて設定したほうが良いとも思っています。最後に、目標が達成できなくても目的を見失わなければ問題ないと考えています。目標とは自分を成長させるための道しるべ。結果がでなくても自分が成長できたならOKだと思っています。それに気が付けば、点数や試合結果に心を振り回されずに済むと考えているからです。大切なのは目的です。別の機会に「目的」について書いてみようと思います。(川村拓也)